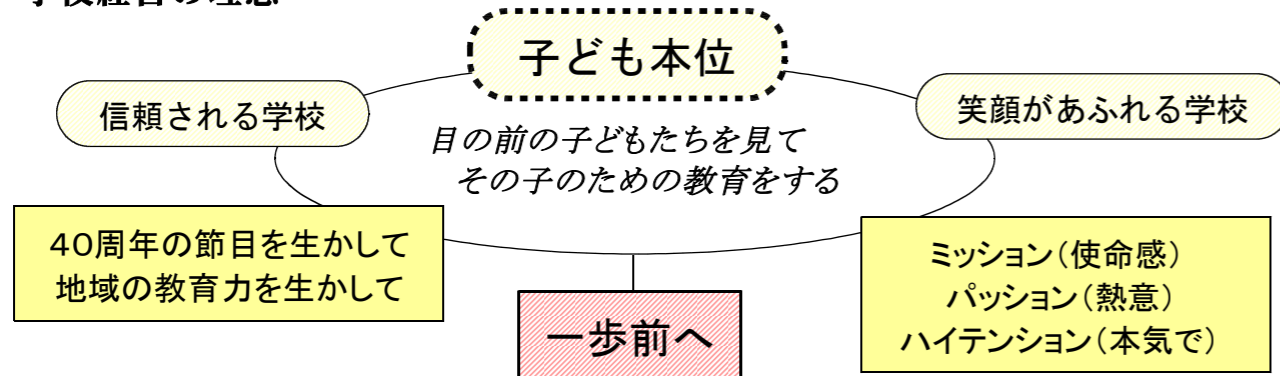


# 平成30年度 八戸市立江南小学校 学校経営の方針

二年目の「ミッション・パッション・ハイテンション」…… 一歩前へ

校長 花生 典幸

## 1 学校経営の理念



## 2 学校経営の視点

- 確かな学力の保証 …… 「わかった！ できた！ 身についた！」が実感できる授業づくり
  - めあてや見通しをもって、子どもたちが**主体（＝自主・自立）的に学習に取り組めるような力を育てる**
    - 子どもたち一人一人に基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させる（個別指導の充実）。
    - 授業のねらいを達成するために、子どもの思考を促すような「発問」や主体的な問題解決が図れるような「授業展開」を工夫する
- 「キャリア教育」の推進 を柱に、子どもたちに豊かな心と健やかな体を育む
  - 家庭と連携協力しながら、子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高める
    - その子のよさや個性（＝かけがえのなさ）、個々の努力の過程や向上的な変容を認め、励まし、ほめて伸ばす。
  - 子どもの「いのち」を守ることをすべてに優先させる（事故防止に万全を期する）
    - 自他の命の尊重＝いじめの防止／安全指導（危険予測回避能力の育成）安全対策の充実
  - 校内研を核にした「特別の教科 道徳」の指導の充実
- 創立40周年の節目を契機にして の「開かれた学校」「信頼される学校」づくりの推進
  - 伝統の価値を子どもの心に刻み、学校と保護者の連携を強化し、地域を活性化する一年に！
    - 『ふるさと江南プラン』の実施＝ 伝統を確かめ、新たな歴史の創造に一歩を踏み出す
  - 地域の教育力を生かした体験活動と学習の充実・安心・安全な環境づくりの促進

## 3 学校教育目標

- 教育目標 「強い子になろう」
- 努力目標 自分の頭でよく考える子 みんなと仲良く助け合う子  
じょうぶな体きたえる子 進んで力いっぱい働く子
- 学校目標 **子どもの自己有用感を高め、主体性を育む**

### 【1】家庭と連携した「キャリア教育」の推進

- 家庭と同一歩調をとりながら、〈認める・ほめる・伸びを自覚させる → やる気を引き出す → “一歩前へ”の気持ちをつくる〉という自己有用感を高めるためのサイクルを重ねていくことにより、子どもたち一人一人の主体性を育む。
- さまざまな活動を通して、人とのかかわり方を学び、身につけさせる。

### 【2】子どもたちの学習意欲と主体性を喚起するような授業の工夫（授業改善）

- 学習意欲を喚起し、授業のねらいを達成するために、思考を促すような「発問」や効果的な「授業の展開」を工夫する。
- 子どもたちが授業において、十分に思考し、考えを整理しながら問題解決に取り組めるように、〈待つ〉〈問い返す〉を意識しながら授業を進める。

## 4 学校経営の方針（平成30年度の重点施策）

### (1) 学級経営の充実

- 子どもたち一人一人の「心の居場所」になる学級づくり
- 発達の段階に応じた学習規律・生活規律の確立と望ましい人間関係の形成  
**子どもたち個々の内面によりそった児童理解を**

### (2) 確かな学力の向上：「自分の頭でよく考える子」

- 基礎的・基本的な学力の確かな定着の保障
  - ・学力検査の結果の分析と活用
  - ・計算テスト／漢字テストの運用
  - ・子ども一人一人のつまずきに応じたていねいな個別指導
- 子どもたちの主体性を育むための問題解決的な学習の実現（積極的な授業改善）
- 校内研修の充実 → 校内研究の成果の共有と日常化の促進  
**学ぶ喜びを味わうことができ、一人一人が成就感や達成感をもてる授業を**
- 特別支援教育の視点を生かした授業づくり（授業のユニバーサルデザイン化）
- 読書指導の充実（読書タイム、家庭と連携した読書力の向上、新聞力活用事業）
- 外国語活動および総合的な学習の時間の充実と「モジュール国語」の実施管理

### (3) 豊かでたくましい心の育成：「みんなと仲良く助け合う子」「進んで力いっぱい働く子」

- 「キャリア教育」と関連させて、体験的な学習や総合的な学習時間を充実させて、“学ぶ意欲 働く意欲”を向上 **総合的な学習の時間の確実な運用 = キャリア教育の推進**
- 他者とのかかわりを通して、“自分を育てる（自尊感情や自己有用感を高める）”
- なかよし班活動の充実（なかよし記録会・なかよしウオーケラー・クリーン作戦等）  
**価値ある活動をしかける 自分のよさを再認識し、自分を育てる**

### (4) じょうぶで健やかな体の育成：「じょうぶな体きたえる子」

- 運動タイム（マラソン・なわとび運動）の充実
- 歯の衛生指導と学校保健委員会の充実
- 講師を招いての食育指導の推進

### (5) 生徒指導の充実

- カウンセリングマインドによる心に響く指導といじめの未然防止（毎月のアンケートの実施）
- 気になる子どもに対する全体での情報共有（職員会議における「のびゆく大いちょう」での情報交換）と早期対応ならびに組織的な指導の充実  
**「のびゆく大いちょう」と毎月のアンケートの活用による早期対応・組織的な指導**

### (6) 特別支援教育の充実

- 気になる子ども一人一人の教育的ニーズの把握と個に応じた適切な指導・支援の充実（職員会議における「のびゆく大いちょう」での情報交換と組織的な対応）
- 保護者との連携を含めた校内支援体制の整備と「個別の指導計画・支援計画」の作成と活用  
**「のびゆく大いちょう」を活用した情報と手立ての共有 迅速で組織的な対応**

### (7) 家庭や地域の教育力を生かした地域密着型教育の推進

- 40周年記念を契機にした教育活動（『ふるさと江南プラン』）や保護者・地域と連携した活動の充実
- 毎月のボランティアによる「読み聞かせ」の継続と学習支援ボランティアの積極的活用
- 家庭学習・家庭読書の取組の充実と質の向上
- 学級だより・学校ブログによる積極的な情報発信  
**先生方のアイデアを結集して、よりよいものを**

### (8) 安全・安心の実現と防災教育の充実 [毎月11日：江南小いのちを大切にする日]

- 子どもの命を守るための施設設備の安全管理と安全教育・防災教育の充実
- 学校内外の安全点検および環境整備を基底にした子どもたちの安全確保の徹底  
**いのち（生き物）を大切に育む アンテナをいつも敏感にして “子どもの心は見ているものに染まる”**

重点  
施策

# 平成30年度の教育活動にかかわって、特に先生方をお願いしたいこと

## ① 40周年記念式典に向けての準備・取組を着実に

- 先生方からも積極的にアイデアと工夫を提案してほしい
- 学級での教育活動の取組（子どもの成長・進歩）を積極的に発信してほしい

教育活動の見える化  
＝ 学級だよりの発行・ブログの配信を増やしてほしい

## ② 「キャリア教育」の推進をさらに

☆ 昨年度見直しをした「総合的な学習の時間」の計画を、確実に実施することにより、学校経営の柱（＝学校目標）である〈キャリア教育〉の推進を図る。

主体性  
＝ 待ちの姿勢

- ・ 子どもたちが自ら動くようにサポートの姿勢を意識して
  - × 「次はこれやりなさい」
  - 「次はどうすればいいかな？」
- ・ 自分の頭で考えるから、思考力が育まれる（授業も然り）

プロセス(過程)で育てる

- ・ 総合は、プロセス（過程）で育てる＝力をつける学習
- ・ 子どものようすや進捗状況を見ながら、臨機応変に軌道修正をしていく。
  - （この活動にもっと時間を増やして方がよい）
  - （この場面をもっと充実させるために、ゲストティーチャーを招聘した方がよい）等

自己有用感  
意欲の喚起

- ・ いろいろな人とのかかわり＝聞く・話す
  - ＝いろいろな気づきや発見が生まれる
  - ＝自分の頭で考える → 工夫の主体性
  - ＝他者にはたらきかける（アクション）
  - ＝感謝を得る → 自己有用感・意欲が高まる

## ③ 「ほうれんそう」を、早く確実に

報告

事後・過去

「こういう結果になりました」

連絡

現在

「今このような状況です」

相談

事前・未来

「こうしたいのですが、よろしいですか」

情報共有

情報が、校長・教頭に伝わるのは、早ければ早いほどよい（悪いことほど特に）



問題は小さいうちの方が、さまざまに手を打てる。対応策をいろいろ選択でき、よりベターな方向・手立てで、スピーディーに問題解決にあたることができる。

＝ それは、結果的に“先生方を、子どもを、学校を守る”ことにつながる